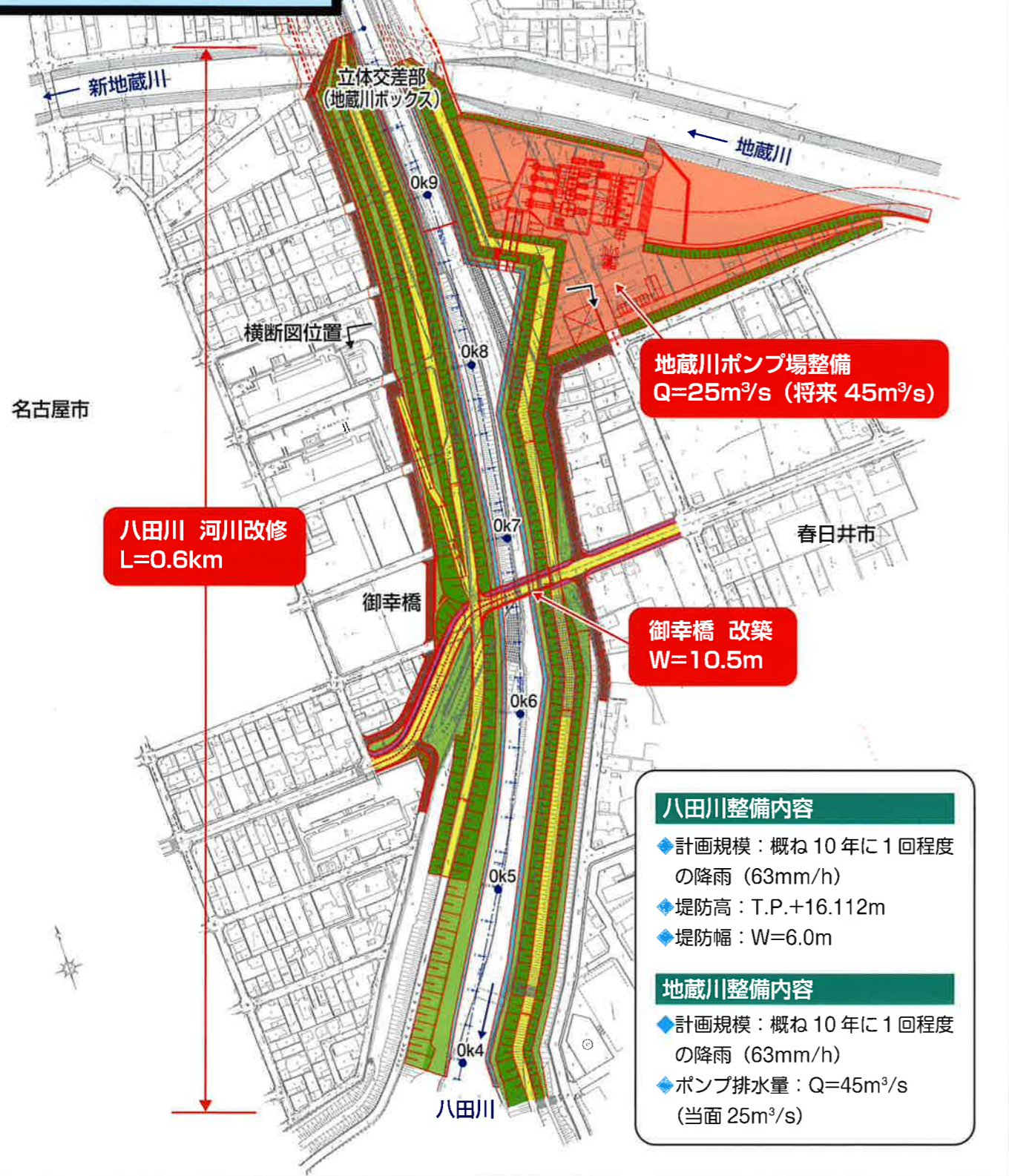
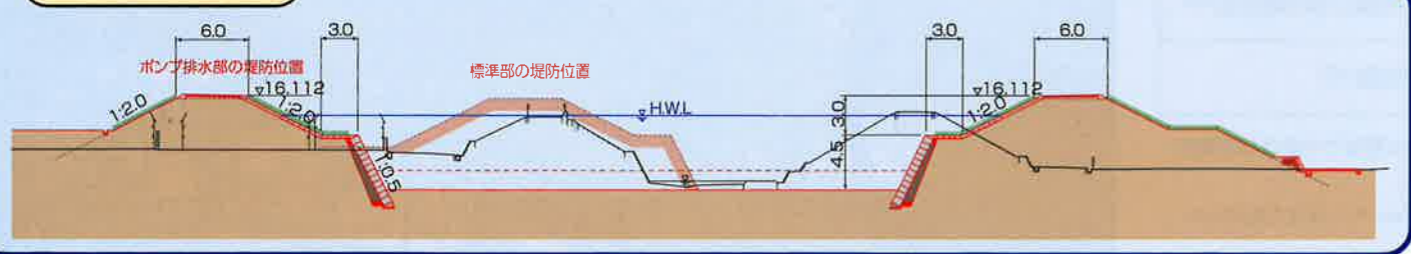


八田川・地藏川 整備平面図

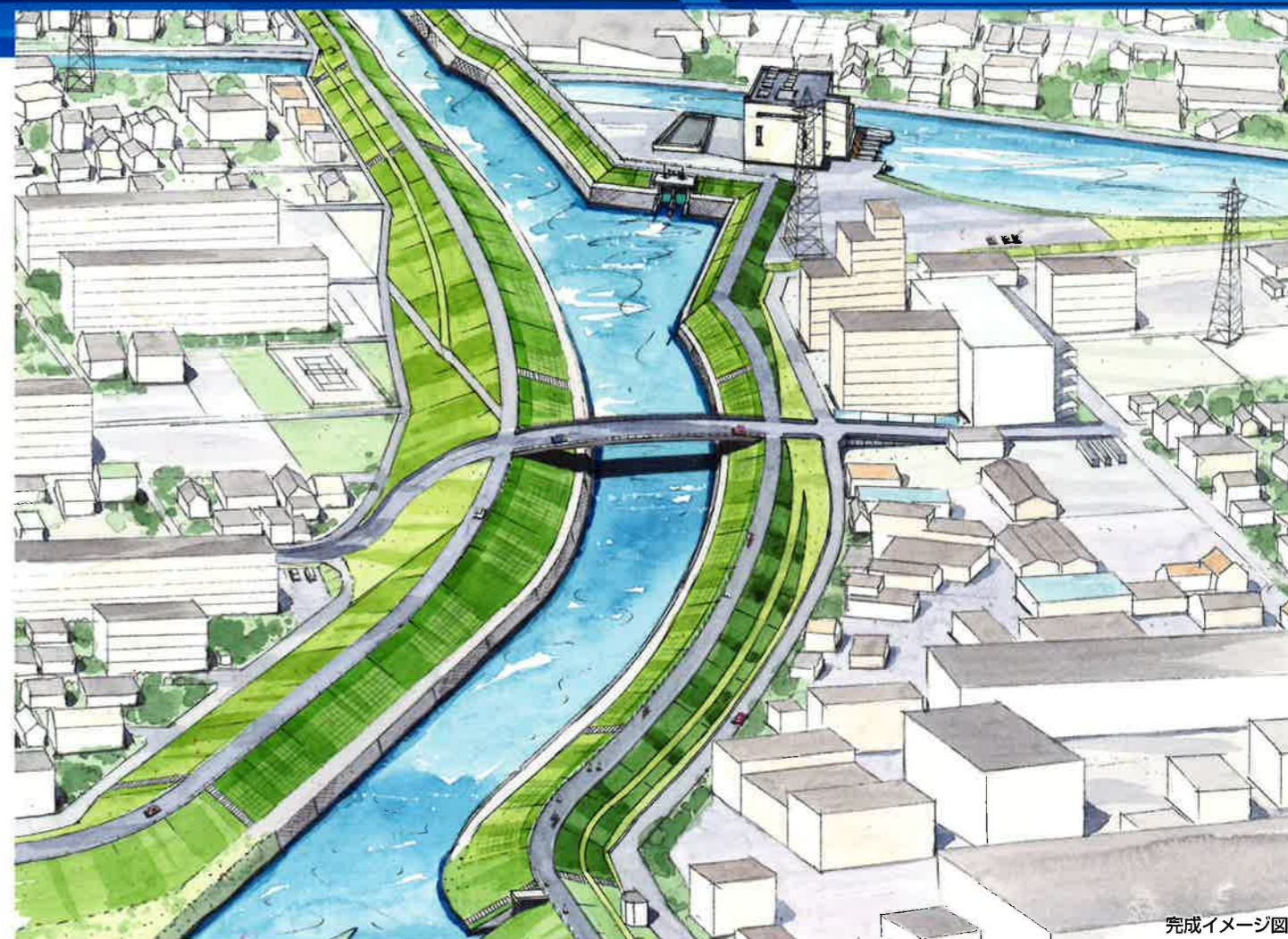


八田川横断面図



平成23年9月台風15号豪雨に対する洪水対策 (床上浸水対策特別緊急事業)

一級河川 八田川・地藏川



平成23年9月豪雨による浸水範囲

浸水範囲



愛知県尾張建設事務所
河川整備課

〒460-0001 名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
TEL (052) 961-4440



平成23年9月台風15号豪雨と被災状況

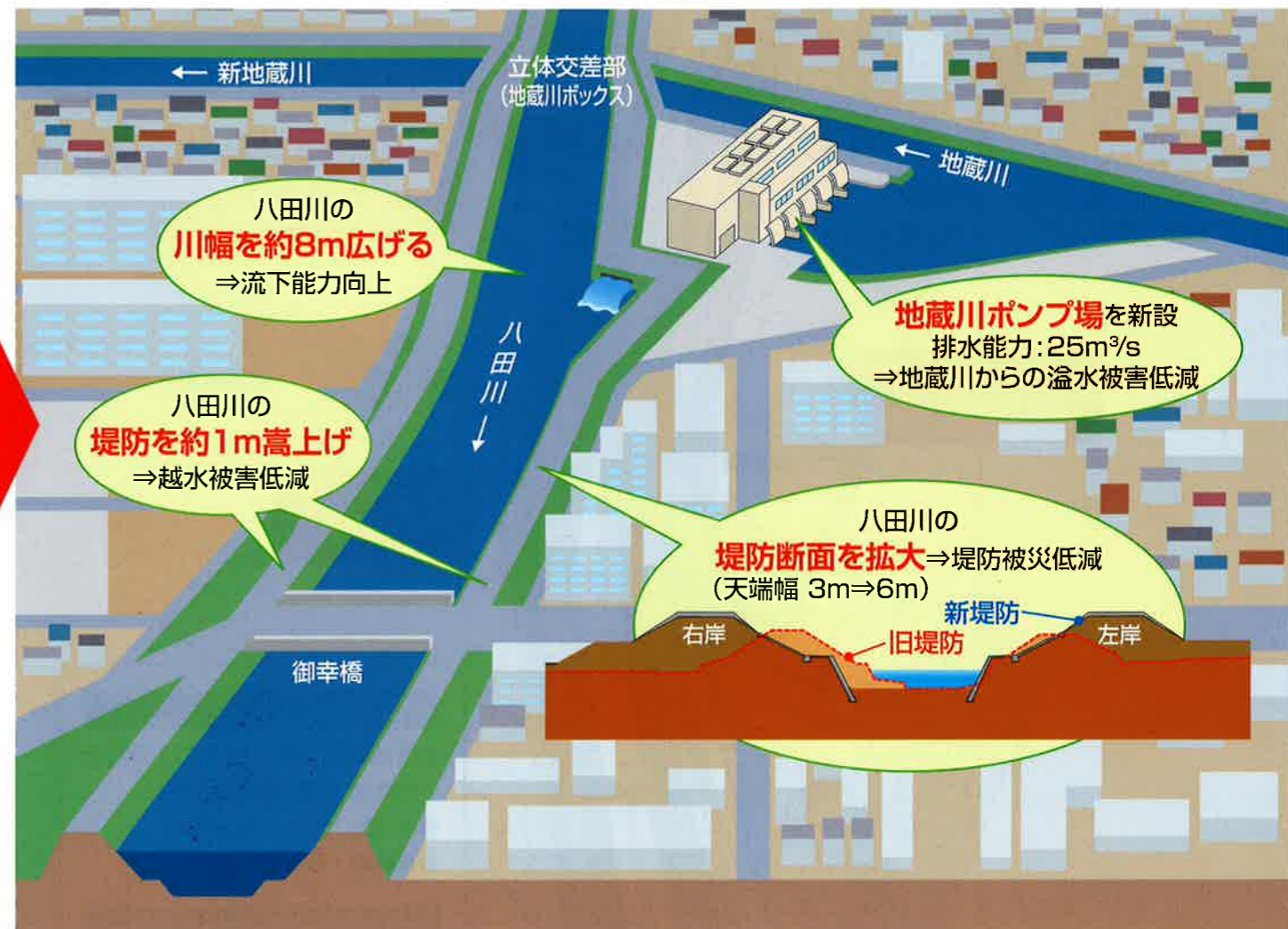
平成23年9月19日から21日にかけて庄内川中上流域を中心として大雨となり、八田川合流点付近で庄内川は平成12年の東海豪雨を上回る出水となりました。その影響を受け、八田川の水位が堤防高を越えて越水し、八田川は破堤の危機に瀕しました。あわせて、地蔵川の溢水も加わり、八田川、地蔵川の沿川では、大きな浸水被害となりました。



整備後

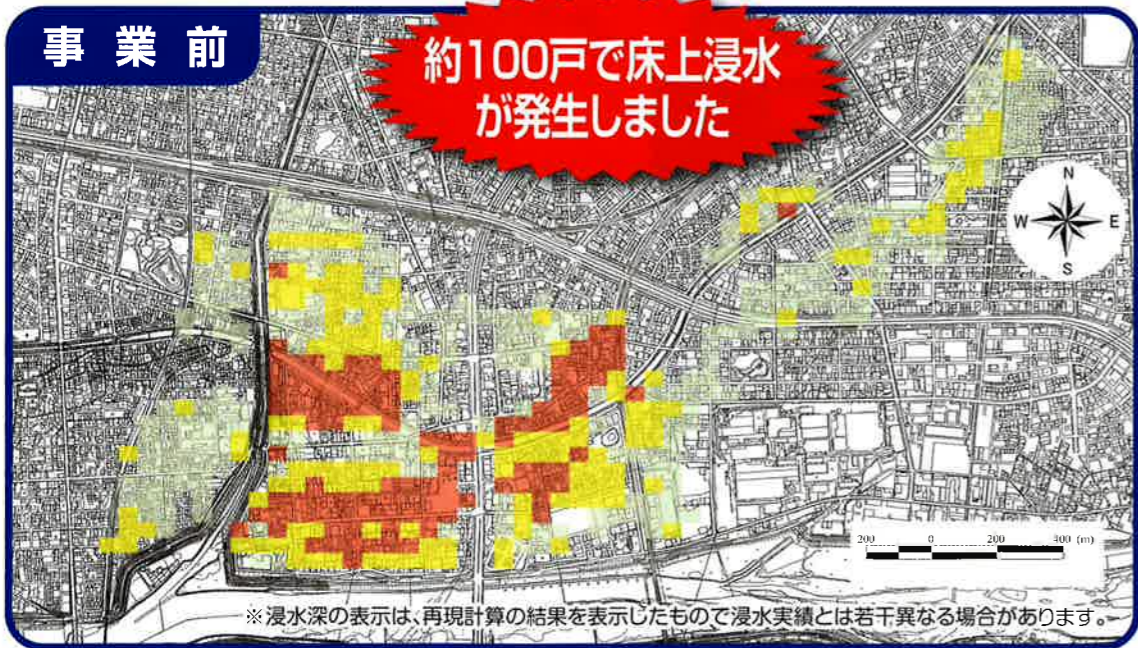
河川改修事業の効果(床上浸水対策特別緊急事業)

八田川の堤防整備、地蔵川のポンプ場整備等により、平成23年9月台風豪雨と同規模の洪水に対しても川からあふれないようにし、床上浸水被害を解消します。
 この事業は平成29年度から概ね5年間で完成を目指します。



事業前

約100戸で床上浸水が発生しました



凡例	浸水深	浸水の目安
緑	20cm未満	道路冠水 安全な避難が可能※1
黄	20cm以上 45cm未満	床下浸水 避難が困難になり始める※2
赤	45cm以上	床上浸水 避難が困難※3

※1: 流速が早い場合には浸水深が20cm程度でも歩行が困難な場合があります。
 ※2: 歩ける浸水深は、大人男性で約70cm、大人女性で約50cm、小学5~6年生では約20cmまで。
 ※3: 特に50cm以上の浸水深における避難行動は危険。

事業完了後

床上浸水がなくなります

